



成果指標				
成果指標	民間保育所箇所数			
指標設定の考え方	さまざまな保護者の保育ニーズと待機児童の解消に努めていく上で、民間保育所の設置及び公設民営化に移行していく必要がある。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	1	2	3	3
実績	1	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	子ども・子育て支援新制度の実施において、延長保育事業は必要不可欠な事業の一つである。今後も事業を継続していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	子育て支援策の一つとして、働く保護者にとって延長保育事業は重要な事業であるため、継続して進めていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題